

## 美術教育に於ける美術部の立ち位置

名古屋市立北高等学校 林田 健

### 1. はじめに

昨今、教員の働き方改革という流れから部活動の在り方や意義について取り沙汰されることが多い。今後は外部委託が進んだり、習い事として民間のスポーツチームや文化活動の場へと移行されていくことが予想される。そして多様なスポーツや文化活動に触れ合える機会は著しく減るのだろう。今までの部活動の負の面ばかりを取り上げてスクラップ&アウトソーシングしていくことが、本当に教員・学校教育、生徒・保護者、ひいては日本のスポーツ・文化活動の普及や発展にとってベストなのだろうか。何かモヤモヤするものがある。そんな事から名古屋市立北高等学校美術部での活動を紹介しながら、教科としての美術と美術部の関係性、美術教育に於ける美術部の立ち位置について考えていきたいと思います。

### 2. 部活動のスクラップ&アウトソーシングで起こる問題

- ・本人の強い意志がないと授業後に他の場所へ移動してまでスポーツ・文化活動に参加しない。
- ・保護者のスポーツ・文化活動に対する価値意識が強く反映される。
- ・家庭の経済的な格差が原因でスポーツ・文化活動に参加できない。
- ・地域の経済的な格差や環境が原因でスポーツ・文化活動の場がない。
- ・学校での多様（他学年・他校・外部の人材）な協働性を伴う活動の場が減少する。
- ・多様なスポーツ・文化活動（特にマイナーなスポーツや文化活動）に触れあえる機会が著しく減り、結果としてそれらの文化が衰退したり、その教育を担ってきた保健体育・芸術（音楽・美術・工芸・書道）・家庭・情報の存在価値が薄れ、科目の選択者数や時間数の減少に繋がる。

### 3. 教科〔芸術〕としての現状

- ・芸術（美術）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを通して履修できる学校は極めて少なく、また最近では芸術（美術）Ⅱを履修できる学校も少なくなっている。 **解決Ⅰ▶**
- ・芸術系大学受験での実技試験等として、総合型・学校推薦型・一般ともに配点の比重が大きい科目であるにも関わらず必要な学習範囲を満たせる授業時間数が配分されている学校が少ない。 **解決Ⅰ▶**
- ・芸術（美術）の専任教諭が配置されていない学校が多く、学習指導・進路指導共に十分に行えていない。 **解決Ⅰ▶**
- ・教材費（予算）に限りがあり、また美術室が小さい学校も多いため題材や作品サイズに制約がある。 **解決Ⅱ▶**
- ・単位数（週時数）が少なく常に展開が絡んでくるため、校外の施設（美術館・博物館・企業等）での学習や専門家（美術家・デザイナー・職人・学芸員等）を招聘しての特別授業を組むことが難しい。 **解決Ⅲ▶**

#### 4. 高等学校学習指導要領における扱い

##### ■高等学校学習指導要領（平成30年告示）第1章総則 第2款 3（4）

教育課程の編成に当たっては、生徒の特性、進路等に応じた適切な各教科・科目の履修ができるようにし、このため、多様な各教科・科目を設け生徒が自由に選択履修することのできるよう配慮するものとする。また、教育課程の類型を設け、そのいずれかの類型を選択して履修させる場合においても、その類型において履修させることになっている各教科・科目以外の各教科・科目を履修させたり、生徒が自由に選択履修することのできる各教科・科目を設けたりするものとする。

解決Ⅰ▶

##### ■高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 第1章解説 第4節 3（2）

教育課程の編成に当たっては、ⅡやⅢを付した科目についても、生徒が自己の興味・関心等に応じて選択履修できるよう配慮することが必要である。～（中略）～このように、各学校の工夫によって多様な科目を設定し、生徒一人一人が個性に応じてそれぞれの資質・能力を伸ばすことのできる教育課程を編成することが大切である。

解決Ⅰ▶

#### 5. ナゴヤ学びのコンパス（名古屋市の学びの基本的な考えを示したもの）における考え

##### ■ナゴヤ学びのコンパス Ⅱ目指したい子どもの姿「ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける」

個別最適な学びを実現するにあたって、子どもたちが必要に応じて、仲間や大人の力を借りたり、人に自分の力を貸したりする「ゆるやかな協働性」を名古屋市では大切にします。

人は一人一人違うことから、それぞれに合った学び方があります。そのため、子どもたちが、「できるだけ自分に合った進度や学習方法、学習内容を選んだり決めたりできる」という意味において学びを個別に最適化することが大切で、「○興味・関心等に応じ、やりたいことを見つけて取り組む」「○学ぶペースや方法、内容などを自己選択、自己決定しながら学ぶ」「○学びに見通しをもち、振り返りながら学び続ける」ような姿が見られるようにしていきます。

##### ■ナゴヤ学びのコンパス Ⅲ重視したい学びの姿「子ども中心の学び」

子どもたちが自分の興味・関心、能力や特性などに合わせて学習方法や学習内容を個別に最適化する学びのことで、教師が子どもの学びに伴走することが求められます。

###### 1 自分に合ったペースや方法で学ぶ

学習に見通しをもち、学習の状況を振り返り、調整しながら学習を進めていくことができるようになることは、将来の仕事や日常生活についても自分で調整し、豊かで幸せな人生を実現することにもつながるため、とても大切なことだと考えます。教師が学習環境を整えたうえで、学びの目標を基に学びの計画を立てることを子どもたちに委ね、一人一人の計画をチェックし、アドバイスします。そして、子どもたちが自分で決めた学び方を実行する機会を十分に保障します。最後に、子どもたちは自分の学びを振り返り、どんな感想をもったか、次の学びにどう生かしたいのかを考えます。

解決Ⅳ▶

###### 2 多様な人と学び合う

学びは本来、年齢に関係なく、多様な人たちと触発し合いながら互いの考えを深め、発展していくものです。様々な人と協働的に学習や活動に取り組む時間や場の設定に力を入れていき、学び合う人を学級から学年、学校、地域、社会へと広げていき、多様な人と学び合うことができるようにしていきます。

解決Ⅴ▶

###### 3 夢中で探究する

学びを通して、学びの面白さを感じ、結果として達成感や成就感を味わい、自分の得意な領域を見つけてほしいと考えます。子どもたちが夢中になって、またじつくりと、自分なりの問いを立て、自分なりの方法で、自分なりの答えにたどり着くことのできるような、探究的な学びを実現していく必要があります。

解決Ⅵ▶

6. 北高校での美術の授業と美術部の活動の関連性

▶解決Ⅰ ▶解決Ⅱ ▶解決Ⅵ

- ・美術の授業で基礎知識と基礎技法を学び、美術部ではそれらをふまえた発展的な内容で作品制作を行うため、美術の授業をより深く学びたい生徒の探究の場となっている。

		美術の授業	美術部
1年	基礎練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージトレーニング（言葉）</li> <li>・漫画の表現（形の取り方）</li> <li>・色彩基礎</li> <li>・文字のデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右脳トレーニング（デッサン感覚の向上）</li> <li>・クロッキー（基礎描画力向上）</li> <li>・クロッキー会@東山動植物園</li> <li>・書道トレーニング（筆さばきの向上）</li> <li>・学校外周ランニング（基礎体力づくり）</li> <li>・名画の模写（油絵の技術の習得）</li> </ul>
	作品制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉とイラスト表現</li> <li>・写真表現 （テーマ設定、モチーフ選定、 構図・光と影・ピント）</li> <li>・切絵</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期合宿@三重県志摩市大王町波切（F15号）</li> <li>・自由制作（F50号）</li> <li>・ポスター制作（B3）</li> <li>・作品講評会</li> </ul>
	特別講座		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術史講座</li> <li>・公的機関や一般企業との連携企画</li> <li>・インターンシップ</li> </ul>
2年	基礎練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージトレーニング（立体）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右脳トレーニング（デッサン感覚の向上）</li> <li>・クロッキー（基礎描画力向上）</li> <li>・クロッキー会@東山動植物園</li> <li>・書道トレーニング（筆さばきの向上）</li> <li>・学校外周ランニング（基礎体力づくり）</li> </ul>
	作品制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築模型（立案・設計・製図・制作）</li> <li>・カトラリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期合宿@三重県志摩市大王町波切（F15号）</li> <li>・立体作品制作</li> <li>・自由制作（F50号）</li> <li>・ポスター制作（B3）</li> <li>・作品講評会</li> </ul>
	特別講座		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術史講座</li> <li>・公的機関や一般企業との連携企画</li> <li>・インターンシップ</li> </ul>
3年	基礎練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロッキー（基礎描画力向上）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右脳トレーニング（デッサン感覚の向上）</li> <li>・クロッキー（基礎描画力向上）</li> <li>・クロッキー会@東山動植物園</li> <li>・書道トレーニング（筆さばきの向上）</li> <li>・学校外周ランニング（基礎体力づくり）</li> </ul>
	作品制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術系大学試験用資料作成 （ポートフォリオ作成、 プレゼンテーション資料作成）</li> <li>・美術系大学実技試験練習 （細密デッサン）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術系大学実技試験練習 （細密デッサン、油画、色彩構成、立体構成）</li> </ul>
	特別講座		

## 7. 北高校での美術部の主な活動

### ■基礎練習（多様な練習方法による基礎力の習得）

- ・右脳トレーニングを行い、絵を描くための基本的な5つの技術「エッジの知覚」「スペースの知覚」「相互関係の知覚」「光と影の知覚」「ゲシュタルトの知覚」を学びます。これにより観察眼（絵を描くためのものの見方）が飛躍的に向上し、基礎デッサンとしての素描力が身に付きます。（講師：名東高校美術部顧問岩尾先生） ▶解決 I
- ・クロッキーを年間通して行うことで基礎描画力の向上を図ります。 ▶解決 I
- ・クロッキー会を名東高校美術部と合同で行い、5分間×1匹、1日合計50匹を描くことを目標に、動きのある動物の形を瞬間的に捉えて描く練習をします。 ▶解決 V



- ・書道トレーニングを行い、筆圧・筆速を意識して文字を書くことで、絵を描く上での筆さばきの技術を向上させます。（講師：北高校書道後藤先生） ▶解決 I
- ・学校外周ランニングをし、作品制作に必要な基礎体力づくりをします。  
夏休みは酷暑により外周ランニングが行えなかったため廊下で筋トレをしました。 ▶解決 V



- ・名画の模写を入部当初にすることで、油絵の描き方を学びながら、絵の具の違いによる特性や混色技術、道具の使い方などを理解していきます。 ▶解決 I ▶解決 VI
- ・北高美術館プロジェクトとして名画の模写を校内で展示することで、日頃の活動の成果を知って貰うきっかけとし、日常生活の中でより身近に美術作品と触れ合える文化的な学校にしていく取り組みをしています。 ▶解決 VI



## ■作品制作

- ・キャンバス張りとは下地塗り（ジェッソ）を部員全員で協力して行います。油絵を行う上でキャンバス張りは、制作に必要な基礎力を養うとても大切な作業です。皺が寄らないように常に全体の確認をしながら、しっかりと力を入れてキャンバスを引っ張らなければならず、初心者だと1枚張るのに1時間位かかります。これは絵を仕上げるために全体を確認しながら細部の描き込みを行うことや、作品を完成させるために必要な体力や精神力に繋がります。力や集中力が持続しない人が描いた絵は、筆捌きが弱く表現力もどこか乏しいものになります。もちろん、張りが緩く皺の入ったキャンバスではとても満足に絵は描けません。張り終わったキャンバスの真ん中を指で弾き、太鼓のような高い音が鳴ったとき部員は満足気な表情を見せます。

▶解決V ▶解決VI



- ・校内スケッチを合宿前に行い、日頃見慣れた風景をよく観察し直すことで、独自の目線でモチーフを捉える練習をします。
- ・夏期合宿を名東高校美術部と合同で行い、漁港での早朝スケッチ、油絵の風景画制作（午前1枚・午後1枚）、夜はその日の制作について講評会を行います。

▶解決I ▶解決VI

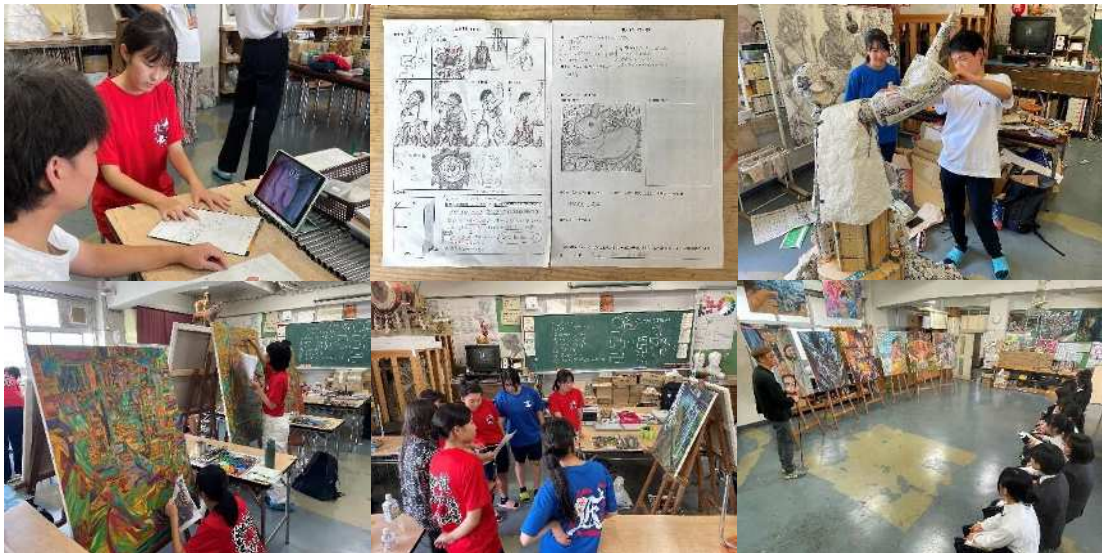
▶解決V



- ・合宿メシ①～⑤ (kitatube)



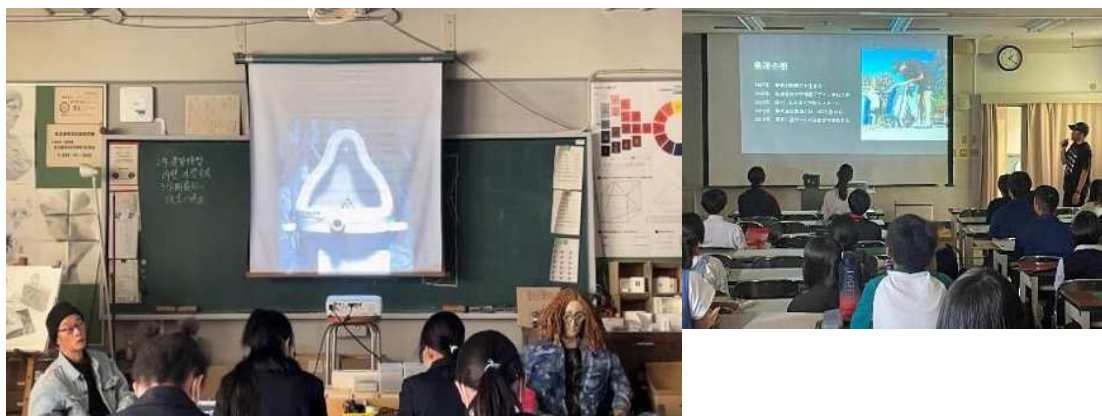
- ・夏休み前から高文連支部展作品のテーマを考え、取材とプレゼンテーションを繰り返しながら、資料の用意と表現の探究を行い作品制作に入っていきます。また月1回程度進捗状況を報告し合い問題点を共有して全体のレベルアップを図ります。 ▶解決IV
- ・支部展後には作品講評会を行い、お互いの作品について客観的に見直すことで理解を深め、次の作品制作に生かします。（講師：名東高校美術部顧問岩尾先生） ▶解決IV ▶解決VI



#### ■特別講座

▶解決III

- ・美術史講座「20世紀の美術史」（2023～）  
第1回目はニューヨーク・ダダの中心人物で20世紀の美術に最も影響を与えた「デュシャン」とストリートアーティストとして街の壁や建物などに写真を貼るペースティングを確立した「JR」についての講義を行って頂きました。（講師：名東高校美術部顧問岩尾先生）
- ・SDGs 達成の担い手づくり推進事業「段ボール財布をつくろう！」（2024）  
国際理解コース・美術部・ユネスコ委員会・図書館部共同イベントとして「不要なものから大切なものへ。世界の街角で捨てられた段ボールを拾い集め、かわいくてかっこいい財布をつくる」プロジェクト Carton として活動している島津冬樹さんを講師に迎え、段ボール財布制作のきっかけから外国での段ボールの集め方、現在の活動についての講演会と段ボール財布制作のワークショップを行って頂きました。



■特別活動①（地域からの企画運営及び展示依頼）

[▶解決Ⅱ](#) [▶解決Ⅴ](#) [▶解決Ⅵ](#)

- ・北区「サステナまち計画」高大官民連携企画運営（柳原通商店街）（2024～）
- ・(株)エヌ・エフ・ユー「みんなの南吉展」企画展示（半田赤レンガ建物）（2023～）
- ・名古屋市北図書館「ミニ北美展」（北図書館展示コーナー）（2017～）
- ・北区役所「北区美術展」（北区役所講堂）（2017～）
- ・AIRPORT WALK 名古屋「エアポ春の作品展」（AIRPORT WALK 名古屋4階休憩広場）（2023）



■特別活動②（インターンシップ）

[▶解決Ⅱ](#) [▶解決Ⅲ](#) [▶解決Ⅴ](#)

- ・(株)CBC D テック（2024～）
- ・北区役所「みらいの北区ダンボールタウンプロジェクト」高大官連携企画運営（2021～2023）



■特別活動③（企業からのご依頼案件）

[▶解決Ⅱ](#) [▶解決Ⅴ](#) [▶解決Ⅵ](#)

- ・三愛クリーナー(株)「Deliver Dream」壁画制作（2023～）
- ・ハチカグ(株)&栗山圭介(作家)「SDGs 時代のお化けやしき」キャラクターデザイン（2021）



#### ■特別活動④（公的機関からのご依頼案件）

▶解決VI

- ・北区役所楠支所「楠フェスタ」チラシ制作（2023～）
- ・名古屋市教育委員会「市立高校オープン夏季講座チラシ」イラスト制作（2024）
- ・北警察署「自転車盗難多発！！」ポスター制作（2023）
- ・日本自動車連盟愛知支部「高等学校交通安全啓発活動」のぼり制作（2023）
- ・北警察署「北区「れいわ」活動」ポスター制作・一日女性警察官（2019）

#### ■その他

▶解決V

- ・朝活動の月曜日・水曜日・金曜日、考査期間中の業後、夏・冬・春季休業中の朝1時間は学習会を行い学習習慣の確立をしています。
- ・美術部歴代OGが来校し、活動の心得や作品制作の技術指導、進路相談などが行われます。



### 8. まとめ

日本の学校教育で部活動が「多様なスポーツ・文化活動に触れ合える機会となり」「身近で気軽（学校のついで）に活動ができ」「低費用で行え」「多様な協働性を伴う活動の場」「多様な経験ができる活動の場」として、スポーツ・文化活動の普及や発展の裾野として寄与してきた部分は大きい。もちろんそれには教員のボランティア的協力があってこそであった。現在の教科（芸術）としての状況が改善される可能性が低いことを考えると、部活動を授業の延長や発展的な場として捉え運営していくことで少なからず問題が解消される。またキャリア教育や主体性を高める観点からも有効である。外部の機関を活用することで、教材費（材料費）を負担して貰えたり、授業では経験できないような題材や作品サイズに挑戦することもできるため生徒に達成感や成就感を味わわせることもできる。芸術（美術）の専任教諭が配置されていない学校でも有効である。特別講義を行う場合は授業時間外に設定し部員以外の生徒を募って参加させる方法もある。急激な部活動の縮小に向かうと教科（芸術）としての存在価値が薄れ、科目の選択者数や時間数の減少、ひいては芸術科教員の非常勤化が進むことも考えられる。美術部の活動も芸術教育の維持や発展という広い視点から見て授業とクロスオーバーさせ、教員の負担軽減を図りながら愛知県下の高校全体で協力体制をとり運営していくことが重要ではないかと思う。

### 9. 余談（指導の参考にしてている漫画）

- ・かくかくしかじか
- ・天才じゃない私たちが輝くために
- ・とめはねっ！